

環境対応に加え、新機能を付与する 技術開発を通じて社会に貢献



代表取締役社長

岩浅 寿二郎

DNTコーティング技報No.11の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

東日本大震災により被災されました皆様には心よりお見舞いを申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当誌発刊より紹介して参りましたように、弊社の環境対応は、市場ニーズに即した形で商品を整えてまいりました。また近年急激な環境変化が及ぼす地球温暖化防止技術、枯渇資源の代替技術、自然エネルギー分野に適合した塗料開発など期待される新規機能を持つ高付加価値商品を提供することが、当社に課せられた重要な責務と考えています。弊社は、社会が求める新たな商品およびノウハウの開発に向け、全技術員の総力を挙げ勇往邁進取り組んでまいります。

塗料・塗膜に望まれる新規機能には、鋼構造物、建築物の長期耐久性、外観・美観の長期保護、有事に対応した耐火および不燃性の付与、また近年、各方面での展開が目覚ましいナノ技術の塗料分野への応用があげられます。また被塗物の劣化度合いの評価方法に関する研究も重要であり、例えば、発錆のメカニズムを塗膜外観の目視評価から素地界面へと視点を移し、微視的評価や電気化学的評価方法を用いた劣化診断方法の開発などがあげられます。これら技術の構築により塗料・塗膜への新機能付与技術開発を通じて社会への貢献をより一層進めていく所存です。

「DNTコーティング技報」第11報につきましては、環境対応に加えて「新規機能性塗料」をキーワードに技術活動および、当社新商品の一端を紹介させて戴きます。本報が皆様とのコミュニケーションの一助になり、市場のニーズや様々なご助言をいただける契機となれば幸甚に存じます。